



# EXTRA, EXPERT AND EXTREME EXPRESS...

2008 VOL.  
**4**



Photo by H.Wakita(c)

## 山口辰也が驚速タイムでポールポジション! 地元期待の伊藤真一も勝利を狙う!!



伊藤真一(#33 KEIHIN Kohara R.T.)が、地元の期待を背負ってセカンドグリッドからスタートする



フロントロウ3番手は亀谷長純(#5 Team 桜井ホンダ)が獲得した

**INFORMATION**

モータースポーツを応援します。



ENERGY & SERVICE

株式会社イー・アンド・イス

**TIME TABLE**

※タイムテーブルは変更されることがあります。

10:10 - GP125 コースイン～選手紹介	
10:25 - GP125決勝レース.....	15Laps
11:10 - ST600 コースイン～選手紹介	
11:25 - ST600決勝レース.....	15Laps
12:00 - 12:55	ピットウォーク
13:05 - GP250 コースイン～選手紹介	
13:20 - GP250決勝レース.....	15Laps
14:05 - JSB1000 コースイン～選手紹介	
14:20 - JSB1000決勝レース.....	25Laps
15:40 - UAM (アジア国別対抗ロードレース) 決勝レース2.....	8Laps
16:10 - ※レース終了後～サーキットクルージング(2輪体験走行)	

# QUALIFYING PRACTICE REPORT

## クールダウンしたスポーツランドSUGO 明暗が分かれた公式予選



ボールシッターインタビューで、(左から)GP125渡辺一馬、ST600野田弘樹、JSB1000山口辰也、GP250高橋巧。  
決勝日は、あいにくの雨模様となる可能性が高いが、その中で各クラスとどのようなレースが展開されるのか、注目しよう。



### POLE POSITION 山口辰也 1'38.361

「事前テストはドライのみでしたが、走り込むことができたので、バイクのセッティングが進みました。でも、まだまだ納得できないところもある。木曜日の走行ではウエットでハイサイドを起こし転倒してしまっただけで、レインコンディションでもいい感触をつかめているので問題ないですね。このコースは雨の降る量によってコンディションが大きく変わるので、決勝では予選より雨が強くならないことを願います。決勝レースは、雨が多いようならサバイバルなものになると思う」



- 予選日: 天候 / 曇り後雨 路面 / ドライ〜ウエット
- 決勝レース コースイン / 14:05  
スタート / 14:20 (25周)

全日本ロードレースは、後半戦の緒戦となる第4戦スポーツランドSUGOを迎えた。テクニカルでアップダウンのあるコースレイアウトは、数々の名勝負を生み出してきた。今回は木曜日から特別スポーツ走行が設けられたが、不安定な天候に悩まされることになった。さらに、急激に気温が下がったため、猛暑に見舞われた事前テストのデータがあまり役に立たない状況となってしまう。

4月の開幕戦以来となるノックアウト方式で行われた公式予選。スポーツランドSUGOでは初開催となる。どんよりとした曇り空の下、午前中の予選1回目は、かろうじてドライコンディションでタイムアタックが繰り返された。ここでトップタイムをマークしたのは、またも秋吉耕佑だった。1分28秒220をマークし、コースレコードを更新する庄巻の速さを今回も見せつけた。酒井大作が1分28秒637で2番手につけ、事前テストからの好調ぶりをヨシムラの2台が発揮。以下、山



4番グリッド / #39 酒井大作 ヨシムラスズキwithデンソー

口辰也、大崎誠之、亀谷長純と続き、ポイントリーダーの中須賀克行は6番手だった。

その後、霧雨が降ってくると、セッション開始直前に本降りとなり、ノックアウト方式の予選2回目はウエットコンディションとなった。30台が出走した第1セッションは、同じく雨となった木曜日にトップタイムをマークしている酒井大作がセッションをリード。すぐに手島雄介、秋吉、山口が次々にタイムを更新し、リーダーボードのトップが入れ替わる。しかし4周目に秋吉が1分40秒244をマークして、この争いに終止符を打つ。山口も1分40秒台で続き、酒井、徳留和樹、手島、地元期待の伊藤真一と続く。

24台で争われた第2セッションは、いきなり波乱が起きる。DREAM Honda RT48の手島がコースイン直後のSPアウトコーナーで転倒。右足を痛めてしまい再スタートできなかった。この時点で8列目24番手グリッドが確定してしまう。ここでも秋吉が2周目に1分39秒684をマークし、セッションをリードするかと思われたが、その直後に山口が1分39秒644をたたき出し、このタイムがトップとなった。以下、酒井、伊藤、柳川明、中須賀、大崎、徳留、岡田忠之、亀谷、横江竜司、佐藤裕児と続き、12人が第3セッションに駒を進めた。

最終セッションでは、ソフトタイヤを選んだ山口が1分38秒644という驚異的なタイムをマーク、2004年第2戦オートポリス以来のポールポジションを獲得した。「ドライよりは雨の方がいいけれど、雨の量によって状況が変わるから落ち着いて走った者の勝ちでしょう。レースは第2セッションぐらいのペースになるだろう



5番グリッド / #75 大崎 誠之 SP忠男レーシングチーム

ね」と山口。2番手の伊藤は「雨のセッティングを詰めながらの予選だった。去年はレースができていないし、とにかく勝つために頑張るだけだね」と静かな闘志を燃やす。3番手に亀谷がつけ、第2セッションまで好調だったヨシムラ勢は、酒井が4番手、秋吉が6番手と2列目に沈んだ。「フロントロウに並べなかったことは悔しいけれど、タイヤセレクトはできたし、スタートを決めてミスのないように走れば結果はついてくるはず」と酒井は自信をのぞかせる。秋吉も最終セッションでは歯車がかみ合わずタイムを出せなかったが、決勝では確実にトップ争いに絡んでくるだろう。

急激に気温が下がったことで明暗が分かれた予選。決勝も雨となる可能性が高いだけにポールポジションを獲得した山口、伊藤、そしてヨシムラの2台を中心にレースが繰り返されそうだ。ダンロップ勢がスタートダッシュをかけられるか？ プリチステン勢が追いつけるか？

【佐藤 寿宏】

## KOTOBUKI'S EYE 王座を引き寄せたい 中須賀克行

JSB1000クラスでランキングトップにつけていた中須賀克行にとって、今回のSUGOラウンドは開幕前から重要な1戦と位置づけていた。この後に続く鈴鹿、岡山は得意としており、中須賀が気に入っているタイヤで戦える。しかし暑い時期に開催されるSUGOラウンドは、そのタイヤが使えないからだ。それが今回のレースウィークに入り、8月とは思えないほど急激に気温が下がった。これは中須賀にとって追い風となったが、雨は余計

だった。レインコンディションは好きではないという中須賀が、どんなレースを見せられるか注目したい。表彰台に上ければ、優勝に等しい価値があると言っていたら、タイトルを引き寄せるために重要な戦いとなることは間違いない。



# JSB1000 CLASS STARTING GRID

1	1'38.361 19 山口 辰也 モリワキMOTULレーシング	2	1'39.686 33 伊藤 真一 KEIHINKoharaR.T.	3	1'40.482 5 亀谷 長純 Team 桜井ホンダ
2	1'40.793 39 酒井 大作 ヨシムラススキwithデンソー	4	1'40.797 75 大崎 誠之 SP忠男レーシングチーム	5	1'40.816 64 秋吉 耕佑 ヨシムラススキwithJOMO
3	1'41.005 21 中須賀 克行 YSP&PRESTOレーシング	6	1'41.564 2 岡田 忠之 急募.com HARC-PRO.	7	1'42.186 87 柳川 明 TEAM GREEN
4	1'42.432 11 徳留 和樹 DREAM HondaRT11	8	1'43.440 81 佐藤 裕児 ワイズギアレーシング	8	1'47.183 62 横江 竜司 RT森のくまさん佐藤塾
5	1'43.489 13 波多野 祐樹 MotoMap SUPPLY	9	1'43.639 26 辻村 猛 F.C.C.TSR	9	1'43.751 16 津田 一磨 Team 桜井ホンダ
6	1'43.768 22 山中 正之 ホンダ Q遊会 明和レーシング	10	1'44.345 18 奥田 貴哉 チームOSG&モトスポーツ	10	1'44.801 24 東村 伊佐三 RS-ITOH&KAZE
7	1'44.989 45 西嶋 修 BEET LUMIX RACING	11	1'45.135 25 今野 晃司 Z-TECH&マルマエ/KMII	11	1'45.268 15 今野 由寛 PLOT FARO ハンテレーラ
8	1'47.095 88 野崎 俊宏 DREAM北九州・TEAM LIFE	12	1'47.278 56 清水 郁巴 DREAM高崎B'WISE R.T	12	48 手島 雄介 DREAM HondaRT48
9	1'47.846 31 古川 力也 HONDA浜友会浜松エスカルゴ	13	1'48.696 82 坂本 弘正 ブラビッションwith夏姫歯科	13	1'49.238 44 児玉 勇太 ウイダー-D.D.BOYS
10	1'49.767 23 鈴木 慎吾 MOTO WIN RACING	14	1'53.598 60 小林 敦之 ホンダ・ブルーヘルメットMSC	14	3'21.471 704 中村 知雅 中村エンジン研究所



●予選日: 天候 / 曇り 路面 / ドライ  
●決勝コースイン / 11:10 スタート / 11:25 (15周)

## POLE POSITION INTERVIEW

### 負傷明けの野田弘樹が快走 全日本で初めてポールポジションを獲得!



**POLE POSITION** 野田 弘樹 1'33.294

『鈴鹿8耐で転倒し、翌日には手術。手術後はすぐ腕立て伏せが出来たので、体力的には大きな問題はないが、テストは出来ずにウィークを迎えた。怪我よりも1000から600への乗り換えのことで頭が一杯だった。SUGOは今春にレースとは関係なく走っているが、その時のイメージでトレースして走ったらタイムが上がっていた。1993年以来全日本を走っているが、初めてのポールポジション。レースでは怪我もあるので無理はせず、『安全第一』で走ります(笑)』

#### ST600

#### 予選結果

Pos No.	Name	Time	Team
1	4 野田 弘樹	1'33.294	テルル・ハニービーレーシング
2	73 小林 龍太	1'33.681	急募.com HARC-PRO.
3	72 宮崎 敦	1'33.718	TEAM DAYTONA GIVI
4	1 小西 良輝	1'33.830	急募.com HARC-PRO.
5	7 岩田 悟	1'33.854	F.C.C.TSR
6	2 高橋 英倫	1'33.910	TEAM GREEN
7	76 清水 直樹	1'33.935	RS-ITOH&KAZE
8	43 生形 秀之	1'33.950	エスバルスドリームレーシング
9	10 稲垣 誠	1'34.083	パーニングブラッドRT
10	18 高橋 江紀	1'34.308	KEIHINKoharaR.T.
11	77 出口 修	1'34.343	DyDo MiU Racing
12	22 新垣 敏之	1'34.429	Team ARA 虎の穴
13	8 寺本 幸司	1'34.469	PLOT FARO ハンテレーラ
14	55 園川 浩道	1'34.470	DyDo MiU Racing
15	83 須貝 義行	1'34.475	チームドゥッカティレーシングジャパン
16	20 中津原 正周	1'34.510	DAIICHI&プラスミュー
17	705 黒川 武彦	1'34.543	松本クリニックガレージスピード
18	33 菊田 庄彦	1'34.620	RS-ITOH&KAZE
19	31 中津原 尚宏	1'34.625	研友会栃木PGLレーシング
20	21 中山 真太郎	1'34.656	Kohara RC
21	5 武田 雄一	1'34.768	HITMAN RC甲子園ヤマハ
22	23 津田 拓也	1'34.892	チームOSG&モトスポーツ
23	13 泉本 真宏	1'34.906	RT森のくまさん佐藤塾
24	14 森 新	1'34.937	CLUB HARC-PRO.
25	44 齊藤 一輝	1'35.054	ウイングヨシイRC
26	70 佐竹 隆幸	1'35.226	チームOSG&モトスポーツ
27	47 小田 茂昇	1'35.414	エスバルスドリームレンジャー
28	61 川原 英実	1'35.526	G-TRIBE☆獣Kemono
29	24 大木 崇行	1'35.612	CLUB HARC-PRO.
30	88 佐藤 友之	1'35.714	RT 森のくまさん 佐藤塾
31	539 高田 昌明	1'35.723	RST+539soko
32	19 大石 正彦	1'35.823	伊藤RACING・GMDスカルレーシングチームハニービー
33	60 古畑 博志	1'35.951	レーシングチームハニービー
34	29 行方 知基	1'36.073	MotoMap SUPPLY
35	65 小菅 岳大	1'36.145	CLUB HARC-PRO.
36	42 岡嶋 晋也	1'36.268	TeamGTMM ATOMIC
37	64 和田 憲史郎	1'36.531	VEGA&Z-TECH★KMII
38	39 新庄 雅浩	1'36.647	MotoMap SUPPLY
39	86 小島 康孝	1'37.224	松本クリニックガレージスピード
40	57 横山 耕二	1'37.327	CLUB HARC-PRO.

## アジア国別対抗ロードレース 日本代表に熱い声援を!!

アジア各国のモーターサイクルスポーツのレベル向上と国際交流を目的として開催されているのが、FIM/UAM 2008 アジア国別対抗ロードレース。その開幕戦となる日本大会が今回SUGOで開催される。

アジアモーターサイクルユニオン(UAM)に加盟するアジア各国から2名ずつの代表ライダーが参戦。日本代表チームは、中木亮輔(モリワキクラブ)と丸山隼一(DyDo MiU Jr.)の2名。両選手とも今回使用するマシン「CBR150」でのレース経験があり、好成績が期待できる。日本代表チームに熱い声援を!!



土曜日に行われた決勝レース1(8周)では、丸山隼一が猛烈な追い上げを見せて2位表彰台を獲得した。優勝はインドネシアのヘルマワン。

## GP125 youth CUP に注目しよう!

17歳以下(登録時)の選手を対象にGP125クラスに設定されている「youthCUP」にエントリーしているライダーが、ここSUGOで予選から元気の良い走りを見せ、上位グリッドにつけている。ポールポジションを獲得した渡辺一馬(18)をはじめ、3番手の大金佑輝(15)、5番手の日浦大治朗(14)、6番手の尾野弘樹(16)、8番手の大久保光(15)、11番手の矢作雄馬(18)など。ティーンズライダーの決勝での活躍に期待してほしい!!



大金佑輝は自身最高グリッドの3番手から決勝に挑む

●予選日:天候/曇り 路面/ドライ  
●決勝コースイン/10:10 スタート/10:25(15周)

# POLE POSITION INTERVIEW

## 渡辺一馬が初P.P.をGET 山田亮太が2番手につけ TEAM PLUS ONEが1-2!



**POLE POSITION** 渡辺 一馬 1'36.749

『事前テストもウエットだったので、雨でも不安はなかったけど好きでは  
ありません。朝はまだ少し濡れているところも残っていましたが、SUGOはミ  
ニバイク時代から走り込んで、好きなサーキットなので楽しみながら  
走れました。予選ではとにかく周回を重ねることを重視して、時間内で目  
一杯走らせてもらいました。レースは始めてみないけど何とも言えませ  
んが、落ち着いてレースをして、少しでも上でゴールできるように走ります。  
予選の前よりもこの記者会見の方がはるかに緊張しています(笑)』

●予選日:天候/曇り 路面/ドライ  
●決勝コースイン/13:05 スタート/13:20(15周)

# POLE POSITION INTERVIEW

## 高橋巧が今季2度目の トップグリッド! 6戦連続優勝を狙う!!



**POLE POSITION** 高橋 巧 1'31.523

『ウイーク木曜日のテストは雨だったので、慣らしのみで終わってしま  
い、雨の走行があまりできなかった。鈴鹿8耐ではJSB1000だったので、  
最初は250の感覚がなかなか戻らなかった。レースは雨になると  
思うけど、雨のテストはほとんどしていないので、昨年のセッティングを  
参考に、決勝朝のウォームアップ走行で少しでもマシンを詰めていき  
たいと思います。筑波の予選で転倒してから雨は苦手ですが、宇井  
さん、関口さんに負けないように頑張ります!』

### GP125 予選結果

Pos	No.	Name	Time	Team
1	16	渡辺 一馬	1'36.749	TEAM PLUS ONE
2	7	山田 亮太	1'37.087	TEAM PLUS ONE
3	37	大金 佑輝	1'37.760	ENDURANCE&橘川塾
4	2	徳留 真紀	1'37.769	チーム テック・2
5	46	日浦 大治朗	1'37.971	Team NOBBY
6	14	尾野 弘樹	1'37.975	BATTLE FACTORY
7	10	竹内 吉弘	1'38.132	プロマテックアイMS&YUE
8	78	大久保 光	1'38.133	橘川塾&ENDURANCE
9	1	岩田 裕臣	1'38.170	DyDo MIU Racing
10	8	菊池 寛幸	1'38.533	F.C.C.TSR
11	22	矢作 雄馬	1'38.557	橘川塾&ENDURANCE
12	26	小磯 崇	1'38.704	モトアルファ&大洗サーキット
13	15	古市 右京	1'38.746	TEAM ASPIRATION
14	91	森 俊也	1'38.776	racing sayama
15	28	天野 邦博	1'38.859	Honda狭山レーシングチーム
16	56	山本 剛大	1'38.999	Team NOBBY
17	18	菅谷 慎一	1'39.071	TEAM PLUS ONE
18	34	日浦 徹	1'39.249	Team NOBBY
19	11	浪平 伊織	1'39.254	Honda鈴鹿レーシングチーム
20	81	山田 賢己	1'39.525	IRACING RACING・GMDスズカ
21	4	仲城 英幸	1'39.631	Team ProjectμFRS
22	48	中本 翔	1'39.689	RT・OUTRUNwithASS
23	50	尾野 那司	1'39.961	BATTLE FACTORY
24	31	花房 一樹	1'40.100	チーム テック・2
25	64	籠島 欣雄	1'40.145	MUSASHI RACING
26	62	佐藤 正之	1'40.149	Team i-FACTORY
27	33	村田 憲彦	1'40.402	CLUBY'S☆J-OFFICE
28	39	権藤 俊光	1'40.702	BATTLE FACTORY
29	51	藤井 謙汰	1'40.727	F.C.C.TSR
30	72	鎌田 悟	1'40.743	ENDURANCE+橘川スポーツランド
31	6	柳沢 祐一	1'40.988	18 GARAGE RACING TEAM
32	73	小室 旭	1'41.100	SQUAREプロジェクトハルク
33	38	須藤 竜之助	1'41.320	青空racingライドスポーツ
34	41	沖藤 陽一	1'41.476	オートテクニクススポーツ48会
35	25	長谷川 稔	1'41.505	Team RISKY
36	75	松村 徳人	1'41.584	KTR&ENDURANCE
37	87	濱原 颯道	1'41.671	Kohara R・T+アイメック
38	61	今中 満	1'41.732	team RISKY
39	85	平子 剛志	1'42.955	クルーズレーシングチーム
40	65	安孫子 清人	1'44.431	クルーズレーシングチーム

※y=ユースカップ

### GP250 予選結果

Pos	No.	Name	Time	Team
1	2	高橋 巧	1'31.523	バーニングブラッドRT
2	41	宇井 陽一	1'31.627	SEV.spruce/PRO-TEC
3	3	及川 誠人	1'32.196	WILL-ACCESS&SJR
4	5	濱本 裕基	1'32.300	SP忠男レーシングチーム
5	32	岡崎 太郎	1'32.520	Henkel プラスミー
6	56	山崎 都	1'32.804	HiTMAN RC甲子園ヤマハ
7	48	富沢 祥也	1'32.872	TeamProjectμFRS
8	11	渡辺 一樹	1'32.973	RT森のくまさん佐藤塾
9	7	秋谷 守	1'33.143	チーム モトベース
10	12	伊藤 勇樹	1'34.032	DOG FIGHT RACING
11	10	及川 玲	1'34.237	ペンタグラム&株嶺岡&M-Racing
12	46	星野 知也	1'34.453	WINJACK&4413
13	72	木村 旭厚	1'34.748	PRO-TEC日大工学部校友会
14	14	中本 都	1'34.896	RT・OUTRUNwithASS
15	93	遠藤 卓実	1'35.368	SEV.spruce/PRO-TEC
16	24	水野 那由太	1'35.702	テック2レーシング
17	76	柴原 誠	1'35.943	K-max racing
18	21	福山 京太	1'36.459	TeamDankeRacing
19	26	依田 幸久	1'36.495	TeamDankeRacing&六郷運送
20	75	高杉 奈緒子	1'36.603	DREAM高崎B'WISE RT
21	53	久保山 正朗	1'36.667	HONDA浜友会浜松エスカルゴ
22	37	島村 英一郎	1'36.696	SP-V・駒津齒科・ikbs・GBS
23	82	飯室 英治	1'36.891	ARS1166&チームスガイ
24	22	小川 亘	1'37.000	ALLMAN&OWRACING
25	83	末次 真一朗	1'39.847	ヘルワン&BELRAY+RP馬行

●予選・決勝開催日:8月23日(土)  
●天候/路面 予選(曇り/ドライ) 決勝(雨/ウエット)  
●決勝レース/12周

# RACE RESULT

## 雨のレース、岡田義治 が全日本初優勝を ポールtoウィンで飾る



3番手グリッドからスタートした乃村康友がホールショットを奪  
い、中木亮輔、岡田義治が続いていくが、2周目に中木が転  
倒。4周目には乃村も転倒し、トップ争いから脱落してしまう。

かわってトップに立った岡田は独走態勢のままチェッカーを  
受け、初優勝を遂げた。2位は森隆嘉。転倒後、再スタートを切り  
追い上げた乃村が3位で表彰台に上がる結果となり、ポイント  
を伸ばしランキングトップに躍り出た。

レース終盤に、森と2位を争っていた林達也は最終ラップで  
転倒し22位。中木は再スタートしたものの、周回遅れの25位  
でチェッカーを受けた。

### WINNER 優勝/岡田 義治 (写真中央)

『乃村くんが転倒してからは追う目標がなくなって、ペースがわからなくな  
ってしまいました。サインボードを見たら、後ろにいた森くんより自分の方  
がタイムが良かったので、残り5周は余裕を持って走ることができた。  
初優勝なので感無量です!』

### GP-MONO 決勝レース結果

Pos	No.	Rider	Team	Laps	Time
1	9	岡田 義治	K&LJAPAN・RH松島	12	22'52.947
2	1	森 隆嘉	TEAM PLUS ONE	12	22'57.997
3	3	乃村 康友	モリワキクラブ	12	23'00.505
4	8	山本 晃大	M-KID'S	12	23'07.455
5	11	山下 祐	テック2レーシング	12	23'12.890
6	26	谷川 壮洋	TEAM PLUS ONE	12	23'13.277
7	12	伊藤 公一	FACTOR&横井Eng	12	23'14.907
8	21	小畑 仁	MOTO WIN RACING	12	23'29.038
9	16	赤間 清	CLUB HARC-PRO.	12	23'29.217
10	52	川村 明	MOTO WIN RACING	12	23'35.822
11	51	藤井 謙汰	F.C.C.TSR	12	23'38.909
12	44	N 貝崎 圭典	バーニングブラッドRT	12	23'43.880
13	48	根村 拓歩	18 GARAGE RACING TEAM	12	23'58.394
14	6	N 阿部 徹郎	あべスピ・ヤマハ&セルコホーム	12	24'02.283
15	40	N 畑中 要	FTR・タイヤナビ・Big☆教	12	24'06.558
16	38	N 法月 多嘉夫	M・A・R・S' elf	12	24'06.834
17	19	N 江崎屋 学	IS-PC/プリミティブRT	12	24'15.246
18	83	N 高橋 信博	RST	12	24'17.553
19	24	N 伊東 忠孝	青空 racingライドスポーツ	12	24'18.235
20	20	N 三好 葉摘	クラブプラスワン&rs	12	24'21.055
21	45	N 長島 哲太	TeamProjectμFRS	12	24'41.635
22	71	N 林 達也	team A・A・O・MOTOBUM	11	21'04.941
23	43	N 増田 颯也	クラブM+松田塾+彌RT	11	22'58.261
24	49	N 坪川 浩明	propman.jp長谷川鉄筋	11	23'07.508
25	2	N 中木 亮輔	モリワキクラブ	11	24'03.820
26	82	N 高橋 一市	森のくまさんモトテック-R4	11	24'33.343
27	37	N 小山 隆浩	18 GARAGE RACING TEAM	10	20'09.033
----- 以上完走 -----					
66	N	稲垣 徹	バーニングJr&アケノスピード	8	17'23.547
64	N	山田 俊樹	バーニングブラッドRT	7	13'26.290
68	N	小原 覚	プライムモーターサイクル	7	13'27.557
151	N	吉道 竜也	レーシングチームハニービー	7	13'51.445
95	N	潮古 直樹	ZIPBIKE&TOS-R	7	14'22.095
392	N	伴 善之	MIKUNI/Beat Husky-Project	4	7'57.114
74	N	斎藤 幸大	ウイングヨシイ	1	2'14.601
84	N	矢田 栄一朗	CLUB モトバム	0	
56	N	伊藤 淳	MRF&RH松島	0	
18	N	比企 徹	DyDo MIU Jr.	0	

参加台数:38台 出走台数:37台 完走台数:27台  
ベストラップ:3 乃村 康友 1'51.987 11/12 120.148km/h  
※I=国際ライセンス N=国内ライセンス